



MINGEI FILM ARCHIVE

第3回「民藝」の貴重映像を観る

民藝フィルムアーカイブ上映会

—特集 濱田庄司—



トークゲスト
杉山享司氏

(公財)日本民藝館常務理事・元学芸部長、日本民藝協会常任理事、法政大学並びに東京造形大学非常勤講師。専門は、柳宗悦と民藝運動を中心とする日本近代工芸史と博物館学。著作等に『柳宗悦と京都』(共著:光村推古書院、2018年)、『もっと知りたい 柳宗悦と民藝運動』(監修・著:東京美術、2021年)など。



ホスト
大倉源次郎氏

能楽大倉流小鼓方宗家。人間国宝。DVD『大和奏曲抄』、『五体風姿』を監修、その海外販売にマーティ・グロスが協力、交友関係が続いている。



アーカイブプロデューサー
マーティ・グロス

「民藝フィルムアーカイブ」プロデューサー。カナダ人映像作家。日本の映画、伝統文化に関する仕事を多数手掛ける。代表作は『陶器をつくる人たち』、『文楽冥途の飛脚』。

開催日時

2025年 **7月27日** (日曜日)

14時30分～16時30分(開場14時)

*定員80名／満員になり次第締め切りさせていただきます。

料金:2,000円(当日支払い)

会場:国立能楽堂 大講義室

(総武線千駄ヶ谷駅から徒歩5分)

渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 電話 03-3423-1331(代)

主催:民藝フィルムアーカイブ制作委員会

協力:東京民藝協会

■予約用アドレス:mingeifilm@gmail.com



■公式LINE QRコード／こちらからもご予約いただけます。

およそ一世紀前、柳宗悦、濱田庄司、河井寛次郎たちは、無名の職人たちが作り出した健康で美しい実用品を「民藝」と名づけました。「用の美」という視点から見出された全国各地の様々な手仕事は多くの人を魅了してきました。イギリスの陶芸家バーナード・リーチも民藝の美に魅せられた1人でした。

日本文化に深い興味を持ち続けるカナダの映像作家マーティ・グロスは、晩年のリーチから彼が昭和初期に撮影した日本全国各地の民藝産地のフィルムを譲り受けます。以来40年を超えてグロスは、民藝文化を伝える貴重な映像を世界各地から収集し、新たに録音した解説などを加えた映像をデジタルアーカイブ化しています。この上映会ではそんな貴重な映像の中から、濱田庄司を特集してご観いただけます。あわせて、今回は特別ゲストとして杉山享司日本民藝館常務理事をお迎えしお話を伺います。

上映予定映像

○濱田庄司 英語インタビュー(日本語字幕付き)

○アルティガス 濱田庄司を語る(語り:ジョアン・ガルディ・アルティガス)ほか